

第五中学校は、第一小学校と第四小学校とともに、小中一貫教育を合同一体で行っています！

地域運営学校 八王子市立第五中学校

【教育目標】

- ◎ 人・地球との共生 〈より高い人間性をめざす人〉
- 未来社会への知性 〈学び続ける人〉
- 心身共に健康 〈健康で生命を大切にする人〉



学校だより

第3号 令和7年6月9日 月曜日

- 発行 八王子市立第五中学校 八王子市明神町4丁目19-1
- 代表電話 042-(642)-1633



令和7年度 第75回 体育大会

心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること
(中学校学習指導要領 特別活動 健康安全・体育的行事(内容)より一部抜粋)



令和7年度 第75回 体育大会が6月4日(水)に実施されました。今年度の体育大会は、体育大会実行委員が中心となって、学年種目やその他の競技種目、競技のやり方などを考えました。昨年までは教員が主体で学年種目などを決定していましたが今年度からは生徒が考えた種目などを実施しています。主体的に、当事者意識をもって自分たちで企画した体育大会です。



来賓の皆様からもバトンパスが学年を追うごとに上手になっているとお褒めの言葉を頂きました。保健体育科で学んだことが実践で生かされています。



今回の体育大会学年種目は、1・2・3学年で綱引きとなりました。体育や運動が苦手な人でも参加しやすいようにという思いから生徒たちが考えて競技を決めました。

当 事者意識をもつとは、物事を「自分のこと」として受け止め、責任感をもって主体的に関わる意識のことと言われています。つまり、問題や課題を他人事ではなく、自分に関わることとして捉えて、解決に向けて積極的に行動する姿勢なのでしょう。

具体的には、まず考えられるのは責任感です。自分の仕事や役割、行動、発言などに責任をもち、最後までやり遂げようとする姿勢です。次に主体性です。他人に頼らず、自ら考え、行動し、問題解決に向けて前向きに取り組む姿勢です。そして当事者意識です。自分の仕事や役割、行動、発言などが学年や学級、学校全体、職場の組織、学校行事や様々な企画全体の成果にどの様に影響するかを理解し、貢献しようとする意識です。

●**当事者意識をもつことで、次のようなメリットが期待できます。**

① **勉強や様々な活動、仕事や役割への意欲の向上**

自分事として捉えることで、勉強や学校内の役割や仕事への関心ややる気が高まり、積極的に取り組む姿が育つと言われています。

② **学年、学級、学校全体の成果の向上**

個々の当事者意識が高まることで、全体のパフォーマンスが向上し、より大きな成果を上げられるようになると言われています。

③ **問題解決能力の向上**

問題を他人事ではなく、自分事として捉えることで、問題の根本原因を深く理解し、より効果的な解決策を見付けやすくなると言われています。

●**当事者意識を高めるためには次のような工夫が効果的であると言われています。**

① **目標設定**

学年や学級、学校、職場全体の目標と個人の目標を明確にして、自分自身の役割を理解することが大切になるそうです。

② **情報共有**

学年や学級、学校、職場全体の状況や目標、そして自分の仕事がどのように貢献するかを理解することで、当事者意識が育ちやすくなるそうです。

③ **コミュニケーション**

先生や友人などの他者とのコミュニケーションを活発にして、互いの考えを理解し、協力して問題解決に取り組む姿勢が大切だそうです。

④ **成功体験**

成功体験を積むことで、自信が付き、当事者意識を高めることができるそうです。

⑤ **自己成長**

自分の経験や知識・技能の向上に努めることで、自信が付き、当事者意識を高めることができるそうです。

当事者意識は組織の活性化や個人の成長に不可欠な要素です。積極的に意識を高め、主体的に仕事に取り組むことで、よりよい結果を出すことができるでしょう。

先日の生徒会朝礼で、委員会の委員長から、給食の準備に時間がかかるという課題が示されました。決められた時間の中で、給食当番が役割分担して準備と配膳を行う一方で、給食当番以外の生徒がその時に何をしているかが課題改善の鍵です。給食を時間内に準備・配膳し、食べ、片付けをする一連の流れの中で、生徒一人ひとりが当事者意識をもち今何をすべきなのか自覚をすれば自ずと課題は解決に向かうと思います。

集団生活の中で、自分だけよければそれでいいとなれば、集団生活は成り立ちません。将来、企業等に就職をしてもそうでしょう。今大切なのは、当事者意識をもって(自分事として考え)、主体的に取り組むことです。学校生活の中だけではなく、様々な環境の中で身に付けておく必要があるということです。生徒の皆さん、令和7年度は「当事者意識をもつ」、「主体性ある行動」、「変化できるか」をキーワードとして考え、積極的にチャレンジしてみましよう。

教育活動等について

○ いじめ防止プログラム(第1学年)

令和7年5月19日(月)に本校第1学年を対象とした「いじめ防止プログラム」を開催しました。内容はアンガーマネジメントという怒りやイライラなどのネガティブな感情をコントロールし、より建設的に対処するための心理的なトレーニングです。

いじめ防止プログラムを通して、いじめ問題の要因の一つである怒りやイライラなどの対処方法を学び、実践に生かしていきたいと思います。講師は一般社団法人 アンガーマネジメントジャパンの臨床心理士の方に来ていただきました。



○ 体育大会全体練習 (全学年対象)

令和7年5月20日(火)、晴天の中、全校生徒対象の第1回体育大会全体練習を実施しました。当日は暑さが心配されましたが、集団行動としての入場行進や選手宣誓、準備運動(ラジオ体操)を中心に行いました。

その後、第2回、予行練習、当日の体育大会へと入念に準備を行いました。



○ 体育大会 クラス旗

写真は第3学年の体育大会クラス旗です。各クラスで作成担当の生徒が協力してデザインを基に作成しました。

体育大会では、クラス旗のコンテストによる投票がありました。

体育大会終了後には、各クラスに掲示されます。

第1学年、第2学年でも作成していますので、保護者会などでクラスを訪問された際は、クラス旗も御覧ください。



○ ふれあい(いじめ防止強化)月間

6月はふれあい(いじめ防止強化)月間です。写真のように、いじめに関わるアンケートを全校生徒対象に実施します。また、教職員もいじめ防止に関する意識を高めるために、いじめ防止等の対策の取り組み状況について東京都教育委員会が示す指針を踏まえて自己評価を実施します。

いじめは人権を踏みにじる行為であり、いじめに対しては厳しい姿勢で指導を行い、指導後には3か月間の見守り期間を設定しています。いじめのアンケートでは、「いじめる人が悪いとは限らない」という質問について肯定する生徒がまだ数%います。いじめはどんなことがあっても許さない行為であることを再認識できるよう、保護者の方からもあらゆる機会を捉えて御家庭でも伝えていただきたいと思います。また、いじめ防止のためのリーフレットを6月5日(木)にプリントで各家庭に配布いたしましたので御確認下さい。

いじめに関わるアンケート 令和7年6月 日

姓 年 組 出席番号

※回答は口の中に数字で答えてください。

(1) もっともあてはまるものを1つ選んでください。
あなたにとって学校は楽しいですか。

1 とても楽しい	<input type="checkbox"/>
2 楽しい	<input type="checkbox"/>
3 どちらともいえない	<input type="checkbox"/>
4 あまり楽しくない	<input type="checkbox"/>
5 ぜんぜん楽しくない	<input type="checkbox"/>

(2) どちらか1つを選んでください。
今の学年になってから今日までの間に「いじめ」はありましたか。

1 あった	<input type="checkbox"/>
2 なかった	<input type="checkbox"/>

(3) あてはまるものを1つ選んでください。
質問(2)で「あった」と答えた人に聞きます。
その「いじめ」のうち、あてはまるものは何ですか。

1 いじめられた	<input type="checkbox"/>
2 いじめた	<input type="checkbox"/>
3 いじめられているを見た	<input type="checkbox"/>
4 いじめがあったことは知っているが見ていない	<input type="checkbox"/>

(4) あてはまるものを1つ選んでください。
あなたは「いじめ」についてどう思いますか。

1 「いじめ」が少しくらいあっても構わない	<input type="checkbox"/>
2 むざげ半分だから、たいしたことはない	<input type="checkbox"/>
3 いじめる人が悪いとは限らない	<input type="checkbox"/>
4 どんな理由でも「いじめ」はよくない	<input type="checkbox"/>
5 「いじめ」はこわい	<input type="checkbox"/>
6 自分がいじめられないようにしている	<input type="checkbox"/>
7 よくわからない	<input type="checkbox"/>

(5) あてはまるものを1つ選んでください。
あなたは、何かあったときに相談できる大人はいますか。

1 相談できる大人がいる	<input type="checkbox"/>
2 相談できる大人がいない	<input type="checkbox"/>

(6) 質問(5)で「いる」と答えた人に聞きます。
相談できる大人はだれですか。

(7) 「いじめ」や人間関係について、あなたが感じていることがあれば書いてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

特集 教育実習生による研究授業

○ 4名の教育実習生による研究授業が行われました

【研究授業日:令和7年6月3日(火)】
【教科:国語科】
【学級:第3学年2組】
【授業者:〇〇 〇〇(教育実習生)】



○单元名
批判的に文章を読みながらメディア・リテラシーに対する自分の考えをもつ

○授業の目標
2つの社説を批判して近位読むことを通して、新聞社としての意見や主張について考える



【教育実習生のコメント】

尊敬する先生方、そしてとても真面目で心優しい子どもたちのおかげで、充実した教育実習期間を過ごすことができました。一生忘れることのない、貴重な経験ばかりでした。ありがとうございました。

【研究授業日:令和7年6月5日(木)】
【教科:数学科 少人数指導】
【学級:第2学年4組】
【授業者:〇〇 〇〇(教育実習生)】



○单元名
連立方程式 いろいろな方程式の解き方を学ぼう

○授業の目標
かっこがあったり、係数が整数でなかったりする連立方程式の解き方について考える



【教育実習生のコメント】

3週間ありがとうございました。第五中学校の生徒と過ごした時間は私にとって宝物です！これからも色々な事を頑張ってください。応援しています。

【研究授業日:令和7年6月5日(木)】
【教科:社会科 歴史分野】
【学級:第2学年4組】
【授業者:〇〇 〇〇(教育実習生)】



○单元名
近世の日本 天下泰平の世の中 社会の変化と幕府の対策

○授業の目標
庶民を担い手とする文化とその文化の特色を理解する
新しい学問が誕生したことによる社会の影響をまとめ、表現する



【教育実習生のコメント】

15日間ありがとうございました。第五中学校での貴重な経験は、とても勉強になるものばかりでした。この経験は一生忘れません。これからも元気に学校生活を送ってください。応援しています。

【研究授業日:令和7年6月6日(金)】
【教科:英語科 少人数指導】
【学級:第2学年4組】
【授業者:〇〇 〇〇(教育実習生)】



○单元名
Project 1 "My Dream"

○授業の目標
自分のやりたいこと、将来の夢について考え、伝え合う



【教育実習生のコメント】

3週間ありがとうございました。第五中学校の皆さんと沢山の思い出をつくることができました。この経験を将来に生かしていきたいと思います。

学校だよりは令和7年度からデジタル配信となりました。
学校ホームページからも見られますので御活用ください。

<https://hachioji-school.ed.jp/dai5j/>

※ 携帯電話・スマートフォンからは二次元コードからの閲覧が便利です。



学校ホームページの
二次元コード